

文化財をたずねて ②

《吉川類次頌徳碑》

吉川類次は、安政五年（一八五八）南國市稲生衣笠に生まれた。篤農家と知られ、特に稲の二期作に大きな熱意を燃やし、早生の稲を作ることに努力した。

明治二十八年（一九九五）に、十市阿戸の人鍋島菊太郎が、出雲早稲から超早生の稲を発見したと聞き、その種子をゆすりうけ研究努力を重ねた。その結果、五年の歳月を費やして、明治三十二年（一九一九）ようやく超早生の稲の圃定化に成功し、その年七月二十二日に新米二俵を、高知の市場に出



吉川類次の功をたたえる頌徳碑

吉川類次の功績をたたえる頌徳碑は、昭和七年（一九三二）二期作地帯香長平野の中心地、大坪大黒田の旧国道五十五号に沿って建てられたが、時代の変遷とともに、人家や工場が建ちならび、付近に水田は見られなくなってしまうた。

類次会会長
中橋久米雄さん（稲生）の話



類次会は昭和四十七年、地元の前作農家の有志が集まって、二期作の先駆者吉川類次をしのぶとともに、自分たちも稲作づくりの研究を重ねてゆこうと生まれたもので、会員は十八人です。

早稲の品種改良に努力し、長い年月をかけて成功した類次の話は、四十歳以上のかたなら誰でも知っています。その功をたたえる頌徳碑は、二期作の中心地ということで旧国道沿いに建てられました。ところが時代の流れで辺りは一変してしまい、そこで市農協の本所へ移してはどうかと話を進めたことがありますが、まだ結論が出ていないようです。

かつて盛んだった二期作の田植風景



最近では転作、減反とやかましく言われるようになり、この会の活動も沈みがちです。しかし、米作りに対する情熱は失ってはならず、みんな新しい品種の導入に意欲を燃やしています。



ご家庭で話し合せて答えてください。答えは、この広報に出ています。

●もんだい・滑走路直下の〇〇〇が完成、七月二十五日に開通式が行われた。

●しめきり・8月15日

●おくり先・〒783 南國市大坪甲二二〇一 南國市役所内広報委員会親子クイズ係

●答えのハガキには必ず、住所部番号・氏名・年齢・職業を書いてください。

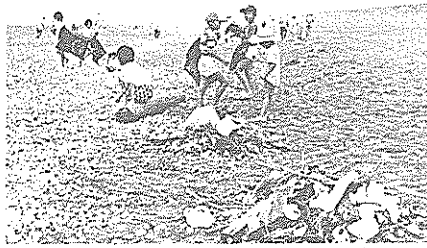
●賞品 特賞千円〇三人、残念賞（記念品）五人

第140回正解者発表（敬称略）

- こたえ・⑧⑨⑩⑪⑫
- 特賞・千円〇三人
小倉花子（稲田）
和泉文美（園分）
末政育（田村）
- 残念賞・記念品〇五人
弘光和人（大坪） 野村昌代（岡豊町） 長崎裕美（金地） 藤森義雄（東崎） 北村義博（十市）

1300人が一斉清掃

久枝―十市海岸一帯



子どもたちも参加した海岸の一斉清掃

「海を汚さず守り育てよう」と、海岸愛護月間にちなんで七月十七日早朝、市内の久枝から十市に至る海岸一帯で地区民、小学生ら約千三百人が参加して一斉清掃が行われました。

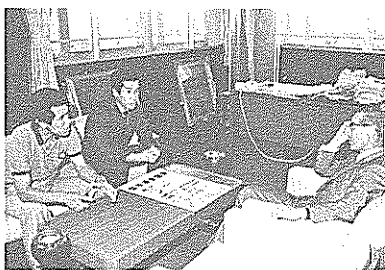
この試みは建設省高知工務事務所、県南国土本事務所、市が共催で地区民らに呼びかけたもので、朝七時から九時ごろまで久枝、前浜、浜改田、十市の各地区で、くま手やビニール袋を手にした参加者の作業が一斉に始まりました。

海岸は数日米の高波で大きな木片やビニール、プラスチック類が散在していて、瞬く間にごみの山ができ、次々に火が付けれ焼却処理されました。

この二時間余りの清掃で海岸は

空手指導でバン格拉デシユへ

篠原の野中保信さん



市長とこん談する野中さん(中央)

見違えるほどきれいになりましたが、護岸堤とテトラポットの間など、人の手の届かない所ではまだ多くのごみが残っており、清掃に参加した関係者の間では「これらのごみもなんとかしなければ！」と話していました。

市民のレクリエーションや憩いの場としての海岸を、これを機会にもっと美しく守り育てたいものです。

発展途上の国々で、現地の住民と一体となって国づくり、人づくりに協力する、青年海外協力隊。このほど、野中保信さん（篠原）

南国歌壇

平和の世衡るころの千羽づる
幾房つづく街歩みゆく
後免町 刈谷 妙
ひらけゆく翼の大地エジプトの
遺跡なる都市幻想さるる
前浜 大原正明
献体は許さぬ構え常になき
固き姿勢の吾息にたじろぐ
植野 永野美由

南国柳壇

美しい親子の金に贈与税
真心の品うれしうて床のそば
十市 大家寿恵子
千羽鶴足げにされて鳴きもせず
父の日と母の日が着く宅送便
立田 清岡照子
古市 島田裕子

南国俳壇

泣いて勝つ餅など栗の花さかり
五月雨あるいわけ程の糸瓜垂れ
篠原の唄いて墨痕強き寺
園家もの屋根に咲く苔の花
蓮蓬葉立たせて風のわたりくる
花合歓の盛りを暖の国に入る
百姓の庭広々と鯉のぼり
火取虫落ちて久しく動かざる
梅雨等む庭の気配や試歩続く

小松ふみ（忍冬句会）
公文政子（〃）
岡崎美枝（〃）
木戸 節（天狼句会）
橋本和子（〃）
中村祭生（〃）
岩貞米猪（おがたま会）
吉本芳子（〃）
秋山房榮（〃）